

No 11	田布施町立田布施中学校
調査研究名	「数学的な見方や考え方」を育成するための実践と評価
調査研究計画	【4月】 ○22年度の研究成果及び課題の確認(教科部会) 23年度の研究の方向性の確認(教科部会) ○本研究の方向性及び重点の確認 ○研究成果のとりまとめについての検討 【5月～12月】 ○指導及び評価についての実践 ① 課題を設定 ② 自力解決 ③ 「おおむね満足の状態に達しない生徒の判定」 ④ ③の生徒への支援 ⑤ 確認の課題で③の生徒が「おおむね満足な状況」になっているか判定, ③以外の生徒で「おおむね満足な状況にならなかった生徒」がいなかったか確認をする。 ⑥ ③での判定基準が正しかったか, ④での支援が適切であったか, 確認の課題は適切であったかを検討する。 ○講師を招聘し、指導を受ける。(時期及び具体的な方法においては校内で検討中) 【10月～11月】 ○データの解析およびまとめ 21年、22年、23年度の実践データから、数学的な見方や考え方についておおむね満足な状況になりにくい生徒の傾向, そのような生徒への効果的な支援方法及びそうした生徒をできるだけ出さないような数学指導のあり方を検討し, まとめる。 【11月～2月】 ○熊毛郡教育研究会 研究授業の指導案検討 ○中国・四国数学研究発表大会の発表原稿作成 ○研究成果の発表 10月 熊毛郡教育研究会での研究授業 11月 中国・四国数学研究発表大会での発表
授業研究・研修等の公開など研究成果の還元方法	
成果のまとめや普及の方法等の見直し ・ 22年度までの研究結果について23年度で検証を再度行い, 数学的な見方や考え方についておおむね満足な状況になりにくい生徒の傾向, そのような生徒への効果的な支援方法及びそうした生徒をできるだけ出さないような数学指導のあり方を検討し, まとめる。 ・ 熊毛郡教育研究会での研究授業や中国・四国数学研究発表大会での発表を通して研究の成果を発表する。	